

令和3年度 佐伯区社会福祉協議会 賛助会員を募集しています!



佐伯区社会福祉協議会では、「すべての人に居場所や役割があり、多様性を認め合い、支え合いのあるまちをつくろう」をスローガンに、高齢者・障がい者・児童等が安心して暮らせる「福祉のまちづくり」に取り組んでいます。本会は、こうした趣旨にご賛同いただき、「賛助会員」としてご支援をくださる方を募集しています。地域の皆様方のご理解、ご協力をお願い申し上げます。

賛助会員のお申込みをご希望の方は、本会へおいでいただくか、振込用紙(郵便局)がご入用の方は、お手数ですが本会までご連絡をいただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

- 賛助会費**
- 個人1口/1,000円(年会費)
 - 団体1口/5,000円(年会費)
- 問い合わせ**
- 佐伯区社会福祉協議会(佐伯区役所別館5階)
 - 電話082-921-3113

ご協力ありがとうございました。

令和2年12月1日～令和3年3月31日の期間で、次の方々から賛助会員のお申込みをいただきました。

個人 (20名/37口)	古池 里司	佐伯 和明	北村 達也	大原 武久	平林 勝恵	石田 教子
	松田 良	大石 玉子	中野ちずみ	藤田 和子	石田 弘江	津丸 俊二
	鮎川 洋	高岸 恭恵	河野 眞二	山本 章友	宮田 明典	匿名(3名)
	(敬称略、順不同)					

愛の灯

温かいご寄付、ありがとうございました。皆様からお寄せいただきましたご寄付は、佐伯区の福祉のまちづくり推進のために、有効に活用させていただきます。

- | | | | | |
|------|---------------------------|----------------|------|-------------------------|
| 一般寄付 | ★西本 義之(利松) | ★細川 了(美鈴が丘南) | 物品寄付 | ★米3kg...眞田 幹雄(美の里) |
| | ★福本 美栄子(五日市中央) | ★広島友の会宮島方面(西区) | | ★入学準備3点セット3人分...匿名(昭和台) |
| | ★山口県東部ヤクルト販売株式会社(岩国市室の木町) | | | |
| | ★匿名(利松) | | | |
- ※令和2年12月1日～令和3年3月31日(敬称略、順不同)

問い合わせ ■佐伯区社会福祉協議会(佐伯区役所別館5階) ■電話082-921-3113

令和2年度 赤い羽根共同募金

ご協力ありがとうございました

令和2年度の赤い羽根共同募金運動につきましては、多くの方々から温かいご支援を賜り、11,091,508円(令和3年3月31日現在)の募金が集まりました。

お寄せいただきました募金は、「高齢者や子育て中の親のふれあいいきいきサロン活動」「要援護者の見守り活動」「地域のボランティア活動」などの推進に活用させていただきます。

皆様方のご理解、ご協力に対して、深く感謝申し上げます。



災害義援金のお礼

本会では、全国各地で起きた地震や豪雨災害に対する心温まる義援金を、多くの方々から頂戴いたしております。ここに、各義援金の募金実績(1月末現在)をご報告いたしますとともに、厚くお礼を申し上げます。

なお、この義援金は、それぞれの義援金配分委員会を通じて、被災者に配分されます。

- ◆平成28年熊本地震義援金 3,633,048円(平成28年4月15日～令和3年3月31日)
- ◆平成30年7月広島県大雨災害義援金 4,129,167円(平成30年7月12日～令和3年6月30日)
- ◆令和元年台風19号災害による義援金 1,407,730円(令和元年10月16日～令和3年3月31日)
- ◆令和2年7月豪雨災害義援金 120,020円(令和2年7月13日～令和3年3月31日)

()内は、義援金受付期間

ちょっと、よってみませんか わたしのまちの地(学)区社協活動拠点

佐伯区には17の地(学)区社会福祉協議会があります。その中には活動拠点を開設されているところがあり、活動拠点を中心に地域の特性にあわせた取組みが進められています。地域の皆さんが憩い、つながりを深めていくための場所でもあります。よろしかったら、ちょっと、よってみませんか。きっと、温かくお迎えしていただけると思います。また、現在、活動拠点の開設について検討されている地区もありますので、開設されましたら「さえき社協だより ささえあい」でもご紹介させていただきます。



佐伯区内の地(学)区社会福祉協議会 活動拠点一覧表

(令和3年3月31日現在)

地区社協名	拠点(事務所)施設名称	所在地	電話	開設日	開設時間	貸出用車いす	車いす保有台数
湯 来	湯来福祉会館	佐伯区湯来町和田 333	0829-83-0877	毎週月・木・金	9:00~17:00	有	3
河 内	河内公民館	佐伯区五日市町上河内 537	928-0219 (河内公民館)	毎週月・水・金	9:00~12:00	有	4
五月が丘	森下会館	佐伯区五月が丘 5-3-5	—	毎週月・金	10:00~12:00 13:00~15:00	有	1
藤 の 木	藤の木公民館	佐伯区藤の木 2-27-7	—	毎週金	10:00~12:00	有	5
彩 が 丘	第三集会所	佐伯区河内南 2-41-20	—	毎週月	10:00~12:00	有	3
美鈴が丘	美鈴が丘南街区集会所	佐伯区美鈴が丘南 4-3-1	942-2778	毎週月~金	13:00~16:00	有	3
八 幡	(社福)順源会作業所	佐伯区八幡 4-4-10	—	毎週金	13:00~16:30	有	1
佐伯区観音	広島市老人いこいの家 坪井荘	佐伯区坪井 1-28-11	922-2090	休館日(火)を除く毎日	9:00~17:00	有	5
五日市南	佐伯区医師会 みなみビル	佐伯区海老園 1-5-40	942-4611	毎週火・木	10:00~16:00	有	2

◆ 地(学)区社会福祉協議会への支援

地(学)区社会福祉協議会の近隣ミニネット、ふれあい・いきいきサロン、地区ボランティアバンクの活性化のため、ボランティアきっかけ講座の開催等、「地域の担い手づくり」を進めます。また、福祉のまちづくりプランの策定支援、地(学)区社会福祉協議会の拠点整備・活用促進を図り、地(学)区社会福祉協議会の活動体制の強化を進めていきます。さらに、生活支援コーディネーターを1名増員し、サロン活動や住民主体型生活支援訪問サービスなどの住み慣れた地域での支え合いの活動がより広がるよう取り組みを進めていきます。



◆ 高齢者・障がい者・児童への支援

高齢者・障がい者・子育て中の親の仲間づくり活動を支援するとともに、民生委員児童委員協議会等と連携し、「いじめ・虐待110番」活動に取り組み、高齢者・障がい者・児童への虐待防止の啓発を行います。

◆ ボランティア・福祉教育の推進

区ボランティアセンターが区民のボランティア活動の推進拠点となるよう、ボランティアグループ・地区ボランティアバンク等と連携して、各種ボランティア講座の開催等に取り組み、区民のボランティア活動への参加を促進します。



◆ 相談援助事業の強化

総合的な相談支援の機能強化を図り、相談者に寄り添いながら、課題解決にむけた相談支援を行います。判断能力が低下した高齢者・障がい者の支援を行う福祉サービス利用援助事業「かけはし」を推進し、くらしサポートセンターと連携して生活困窮者の自立に向けた相談支援を行います。



◆ 市・区社協の法人統合に向けた検討

令和2年度から広島市・各区社協の法人統合(合併)に向けた検討を行っています。令和3年度も引き続き検討・協議を行い、令和4年4月の法人統合を目指します。

石内北小学校
4年生による

「ハッピースマイルプロジェクト」 報告会におじゃましました!

耳マーク
ホルダー

3月16日(火)午後、児童たちによる報告会に参加しました。

昨年10月、手話体験学習の調整で同小学校を訪問させていただきました。

障がい者・高齢者・子どもに優しい環境を考えるユニバーサルデザインについてグループで調べたり、体験したりしたことを総合学習「ハッピースマイルプロジェクト」報告会として、4年生全員が発表。*みんなが「ハッピー(幸せ)で、スマイル(笑顔)になると、ピース(平和)につながる」ことで「ハッピースマイル(ハッピー/ピース/スマイル)」というネーミングになったそうです。

見えない障がい(聴覚)がある人の「耳マーク」について、イラスト入りで表からも裏からも分かりやすいホルダーを考案、作成。今回の学びから、「障がい者」がハッピーで笑顔になれることは、高齢者や子ども・健常者も同じであることと同時に「こころのバリア」にも気づき始めていました。みんながハッピーになれるために、各自が身近なことに気づいて行動していこうという内容の発表でした。

改めて4年生のプレゼン能力の高さにも驚かされました。この報告会を通して、子どもたちが発見したことを実現するための方法を引き続き考えていけるとよりこの会が意義深くなると感じました。



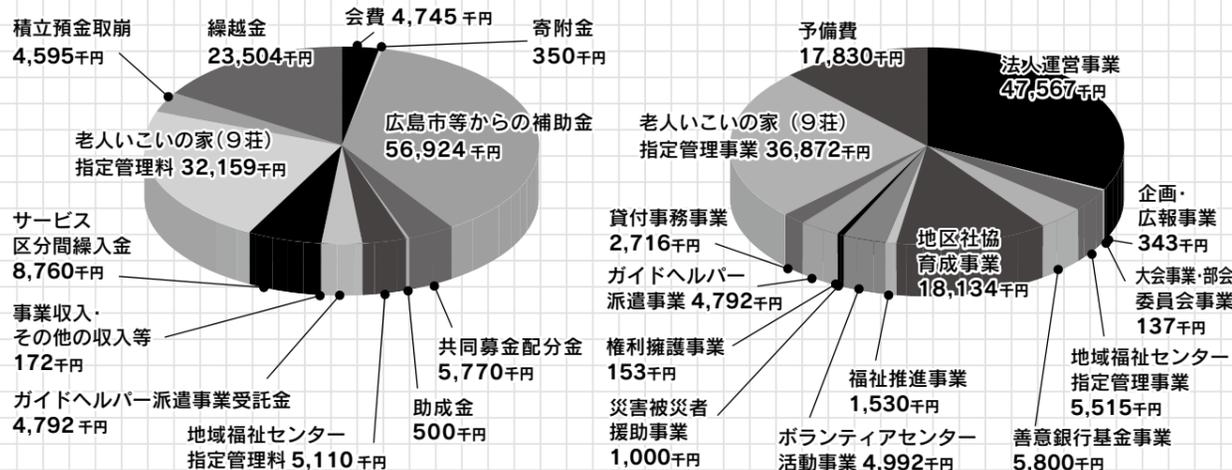
令和3年度

佐伯区社会福祉協議会 収支予算

自：令和3年4月1日
至：令和4年3月31日

収入の部 合計 147,381千円

支出の部 合計 147,381千円



コロナ禍に負けない! オンライン訪問

令和2年12月から「佐伯文化芸術振興会」の皆さんが、オンライン訪問活動を始められました。訪問先は、佐伯区内の老人福祉施設で、日舞やお笑い劇場、坐ソラーンや歌など日ごろ切磋琢磨しておられる演技を披露しておられます。

代表の勇野さんは、『画面を通して笑顔と元気と癒しが拡がった』ことに感動しておられましたが、同時にボランティアの皆さんもキラキラ輝いて演技をしておられます。まさに、お互いさまの活動のようです。6月からの地区社協とのタブレットによるオンライン訪問に向けて、今準備中です。

いきいきサロンでもオンラインが拡がりを見せています。同グループは、今後の訪問先を募集しています。

訪問希望の方は、佐伯区ボランティアセンターへお申込みください。

佐伯区ボランティアセンター直通
082(921)3360

